

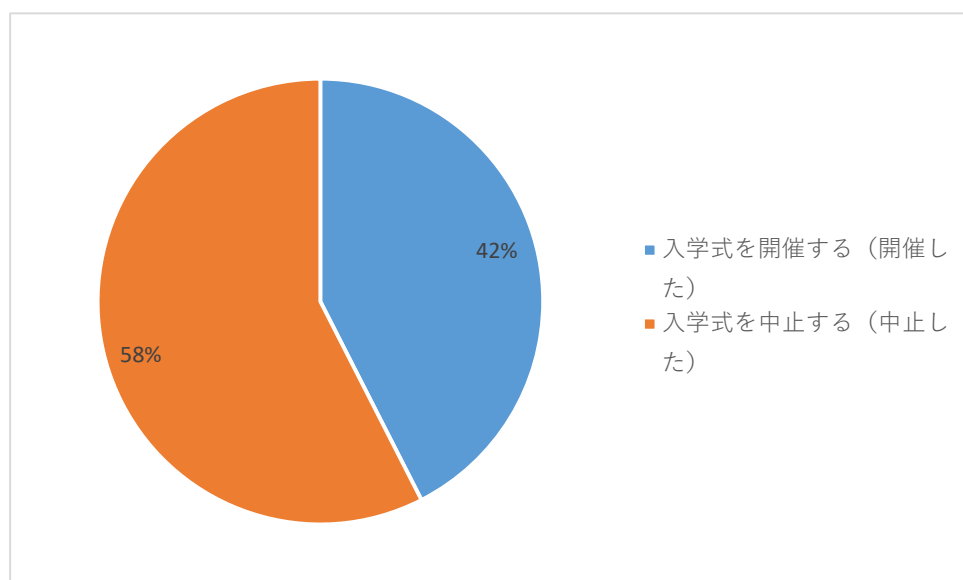
令和2年4月新型コロナウイルス感染症に関する影響についてのアンケート調査報告書

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う養成校への影響について調査を実施しました。その概要は次のとおりです。

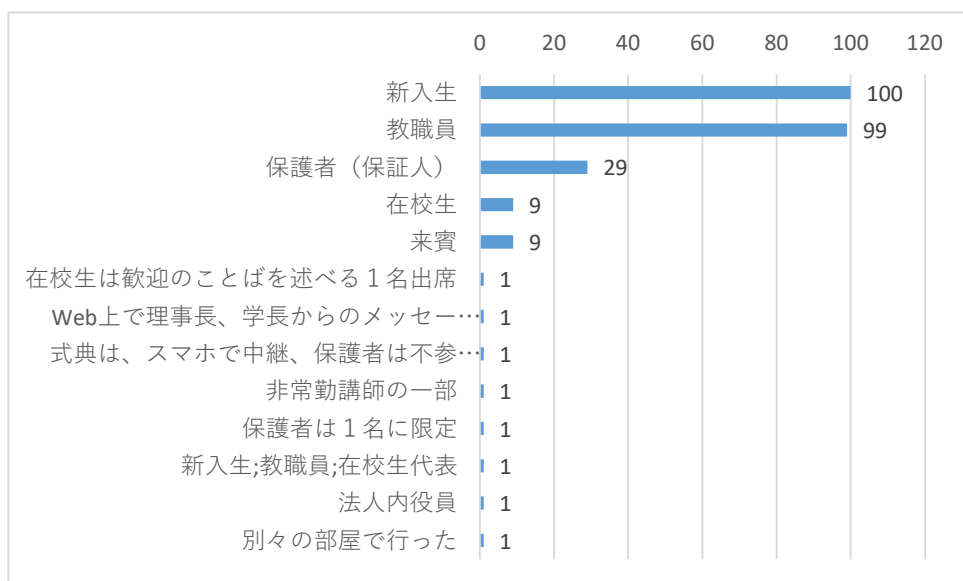
- ・調査対象 全国 375 校(課程)
- ・調査方法 メール配信により調査依頼を行い、グーグルフォームで回答していただく方式
- ・調査期間 令和2年4月7日(火)から4月15日(水)(締め切り)まで
(本報告は4月16日受信分までを集計対象とした)
- ・回答状況 241 校(課程)、回答率は 64.3%

1 入学式について

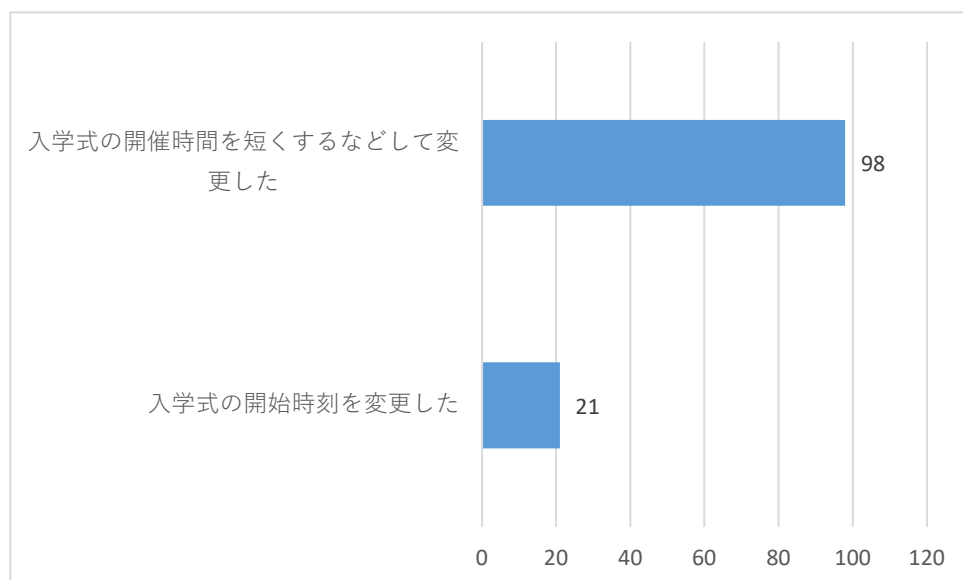
1-1 令和2年度の入学式を開催されますか(回答数:240)



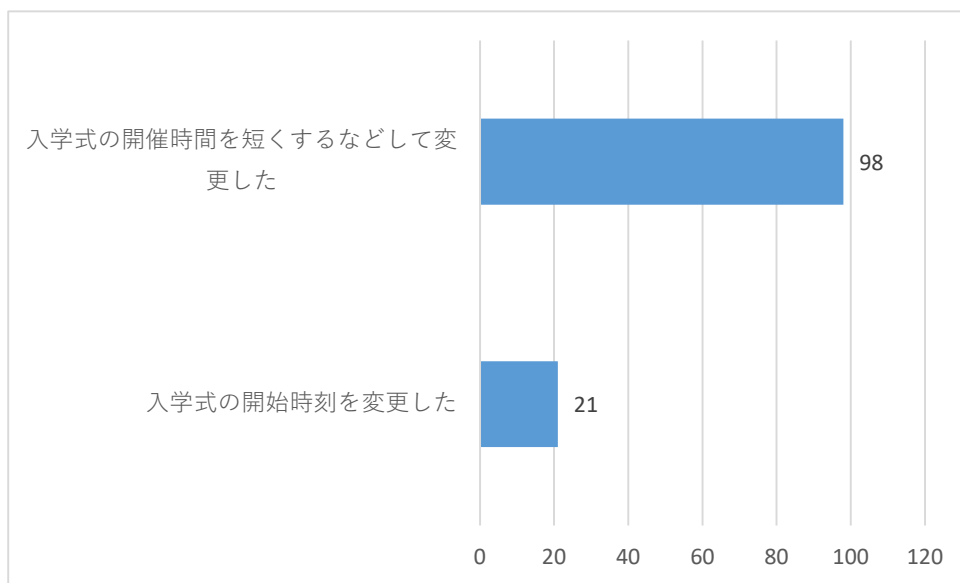
1-2 令和2年度の入学式に出席する方をチェックしてください(複数選択可)中止された場合は何もチェックしないでください



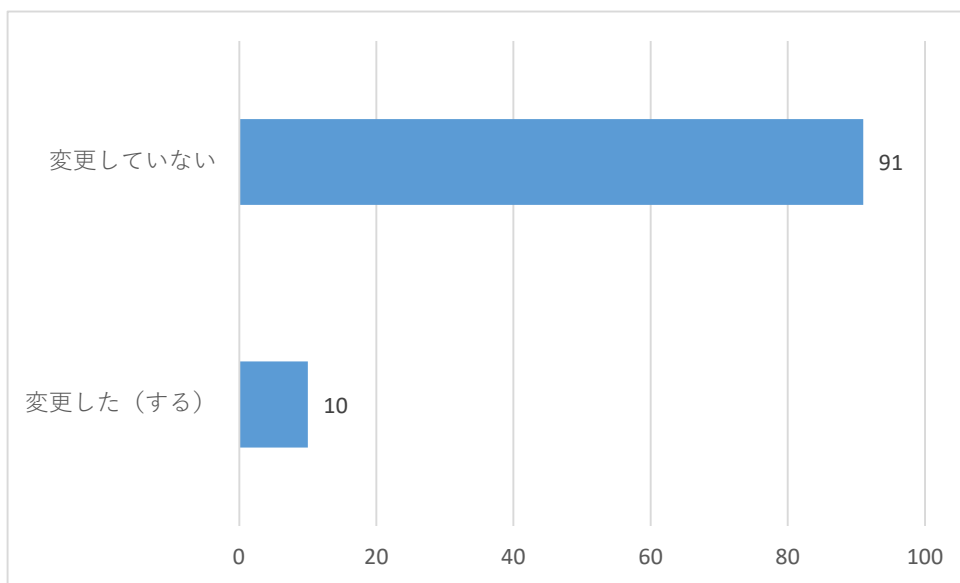
1-3 入学式の時間について該当するものにチェックしてください。(複数選択可)



1-4 入学式の時間について該当するものにチェックしてください。(複数選択可)

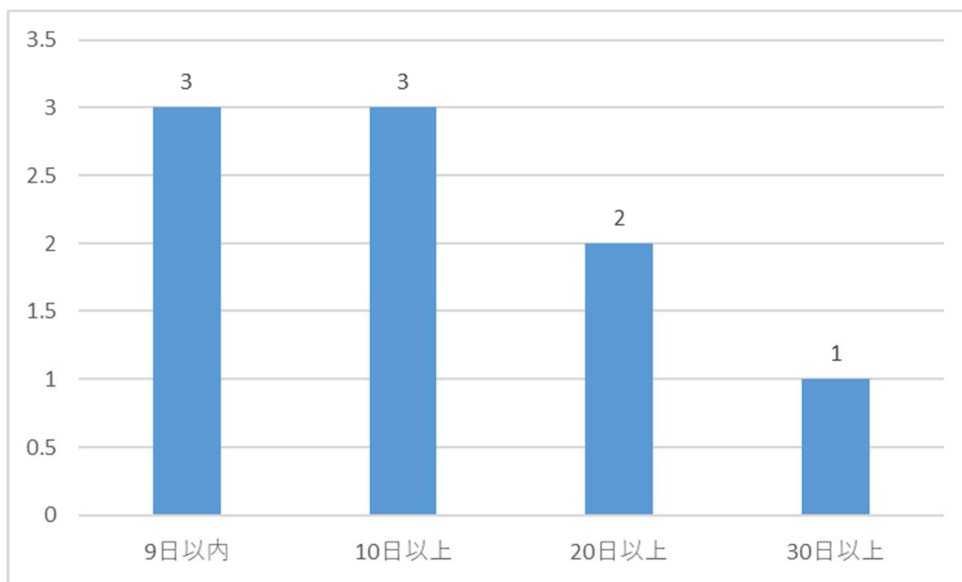


1-5 入学式の開催日を変更されましたか



- 1-6 ・変更前の入学式の開催日はいつですか
- ・変更後の入学式の開催日はいつですか

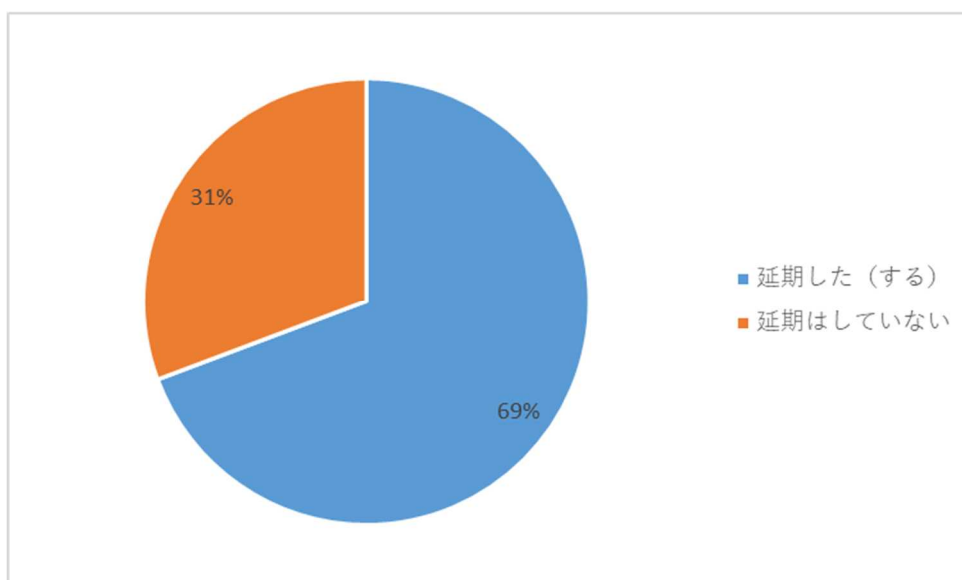
変更前後の間の日数(何日間延期したか)を表した図
(最高は31日間の延期)



2 授業開始延期の期間、振替対策について

2-1 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い令和2年度の授業の開始日を延期されましたか。

(回答数:241)

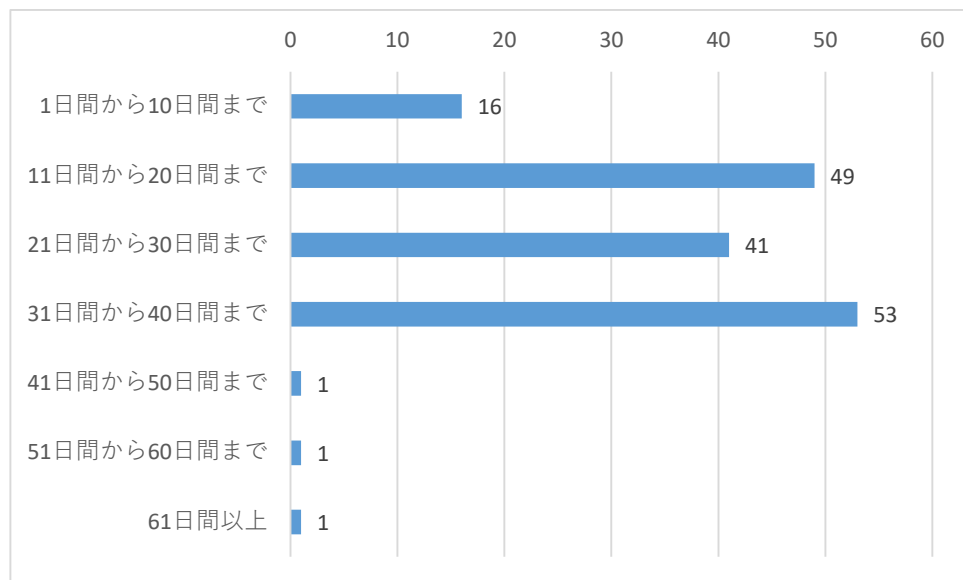


2-2 当初の授業の開始日は何日ですか(いつからですか)

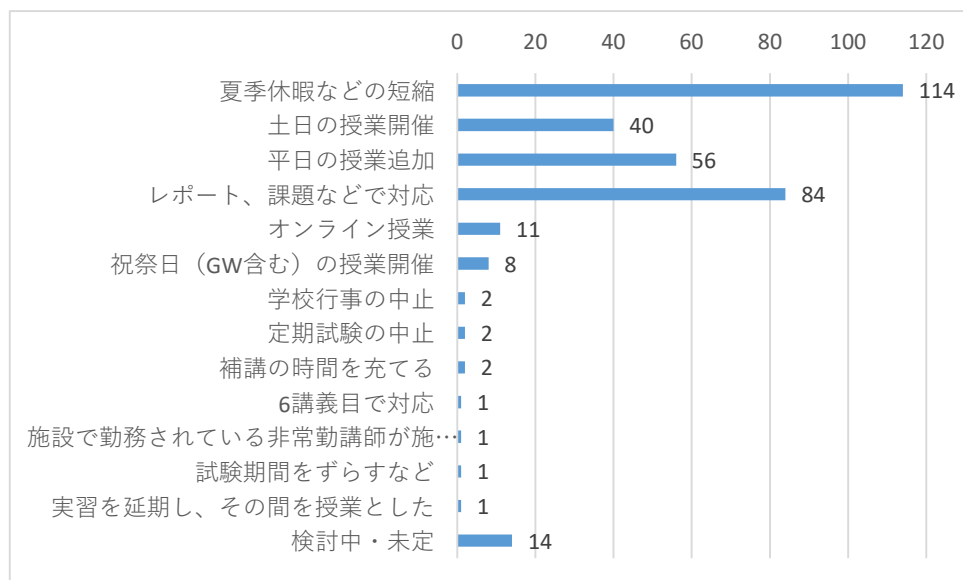
延期後の授業の開始日は何日ですか

変更前後の間の日数(何日延期したか)を表した図

(最高は164日の延期)



2-3 授業の振り替えに関してどのような対策を取られましたか(複数選択可)

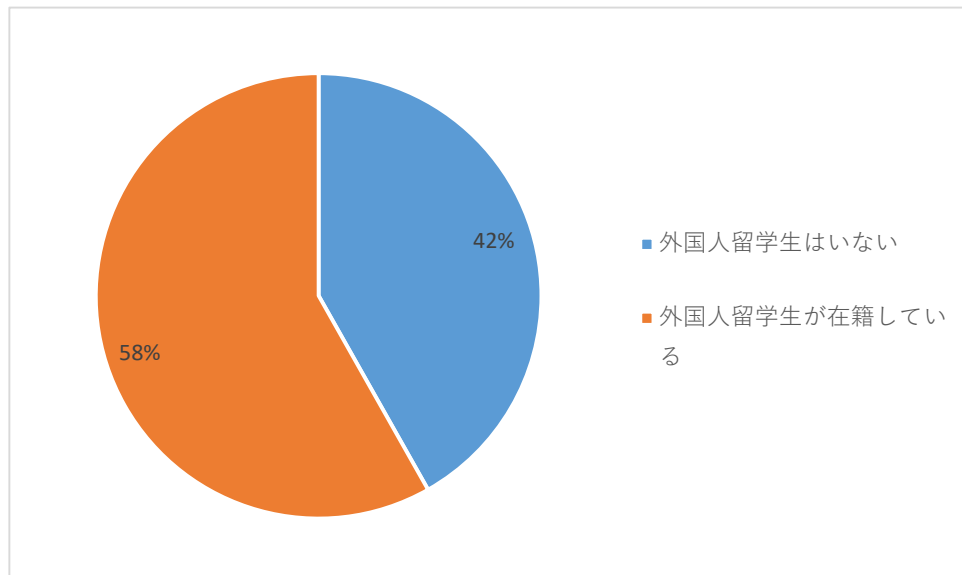


注1 アンケート調査票で選択肢としたのは上記グラフの最初に記載した4項目と「その他」であり、「オンライン授業」以下の項目は「その他」として記述された回答を集計したものである。

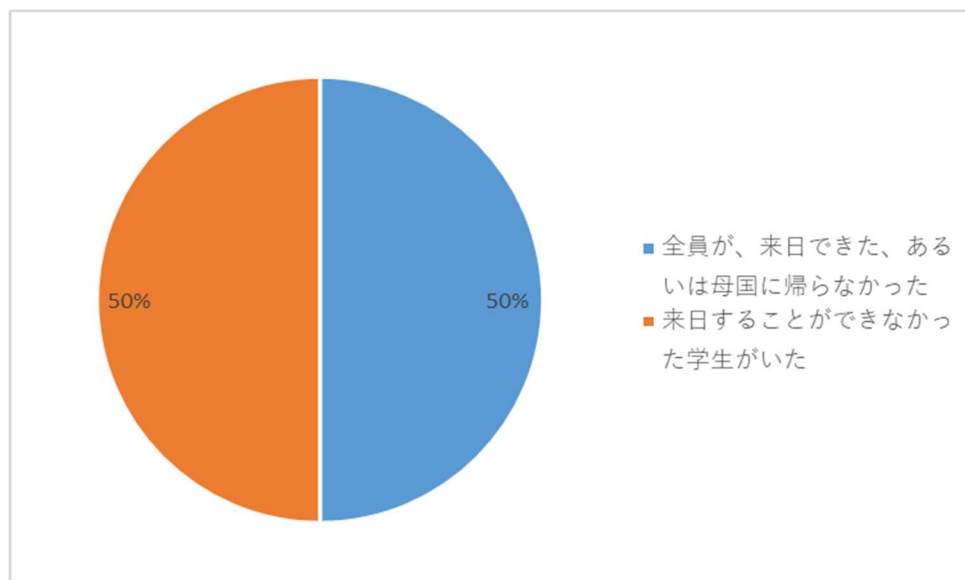
注2 「施設で勤務されている非常勤講師が施設から外出禁止令がでたので、学校に来てもらえなくなったので、後期の授業に変更してもらいたく交渉中です。」

3 外国人留学生への影響について

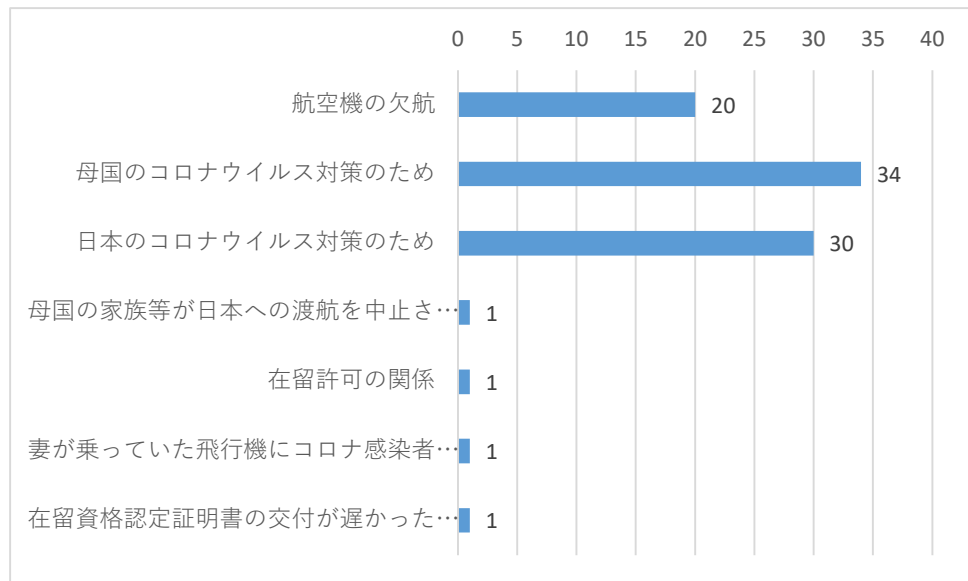
3-1 貴校に外国人留学生(在留資格「留学」の学生。本年 4 月に入学する学生を含む)が在籍していますか。(回答数:165)



3-2 貴校に在籍している外国人留学生は、新年度の授業のため、全員、予定どおり来日することができましたか(回答数:92)

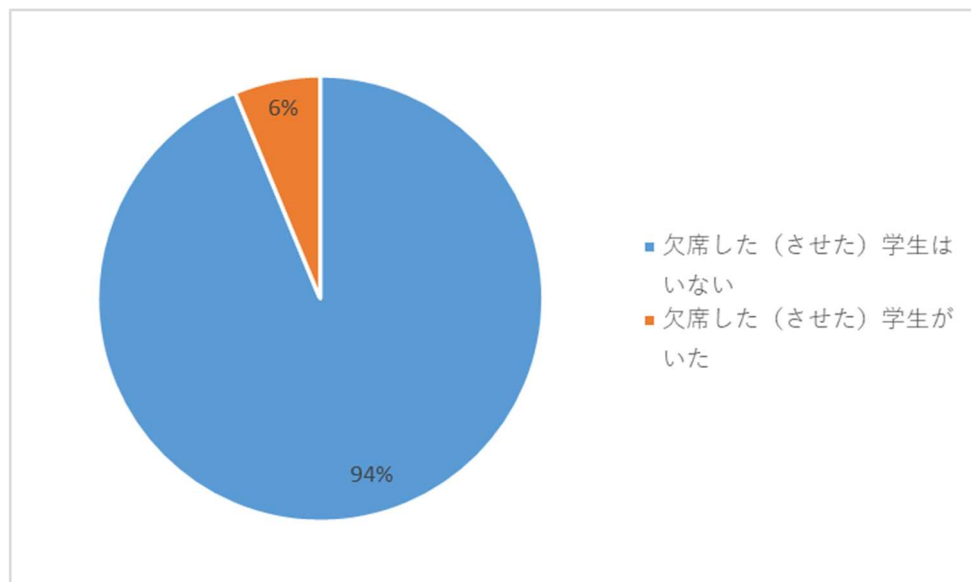


3-3 来日することができなかった理由はなんですか(複数選択可)

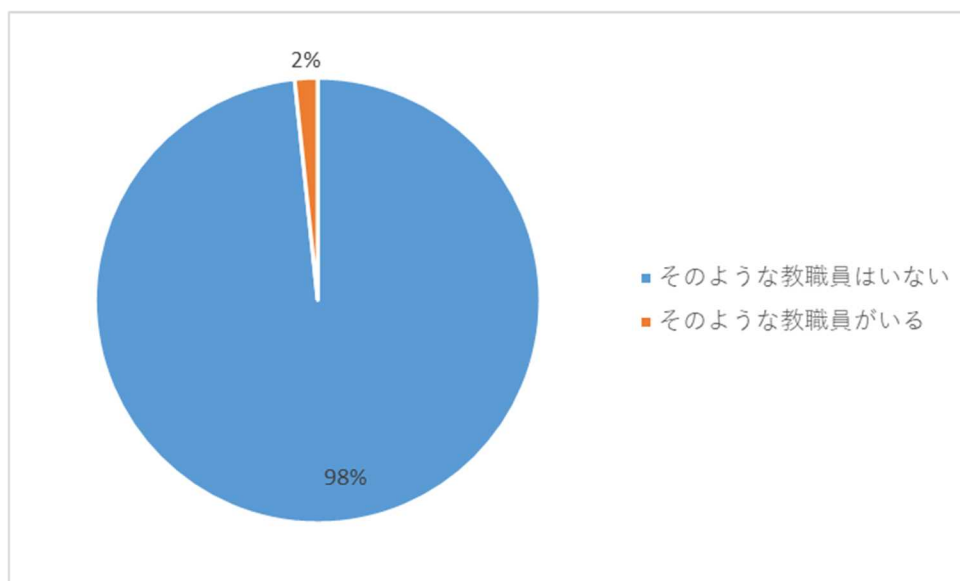


4 学生、教職員について

4-1 介護福祉士養成課程の学生で新型コロナウイルスに感染した疑いがあったため授業を欠席した(させた)方はいましたか(回答数:240)

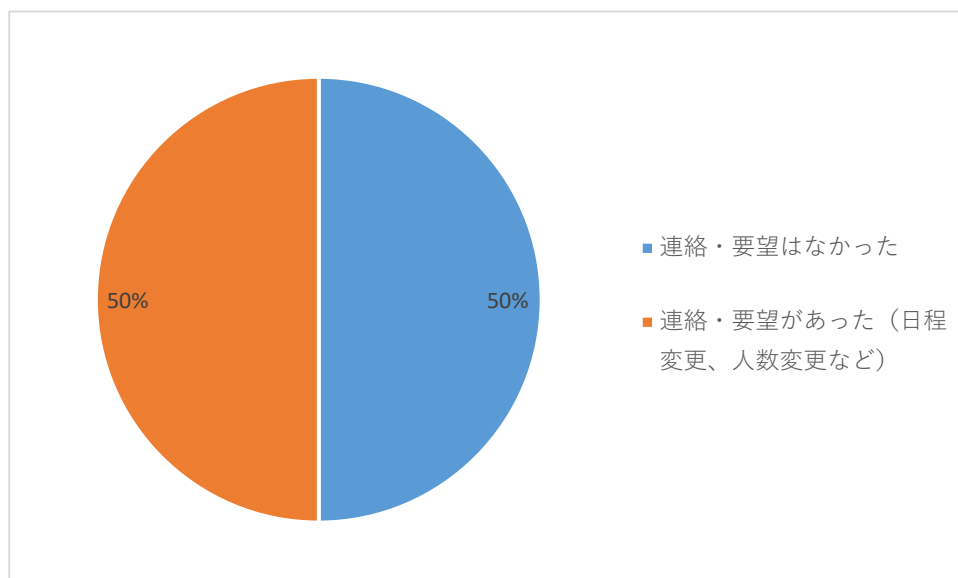


4-2 教職員で新型コロナウイルスに感染した、または感染した疑いがある方はいますか(回答数:240)

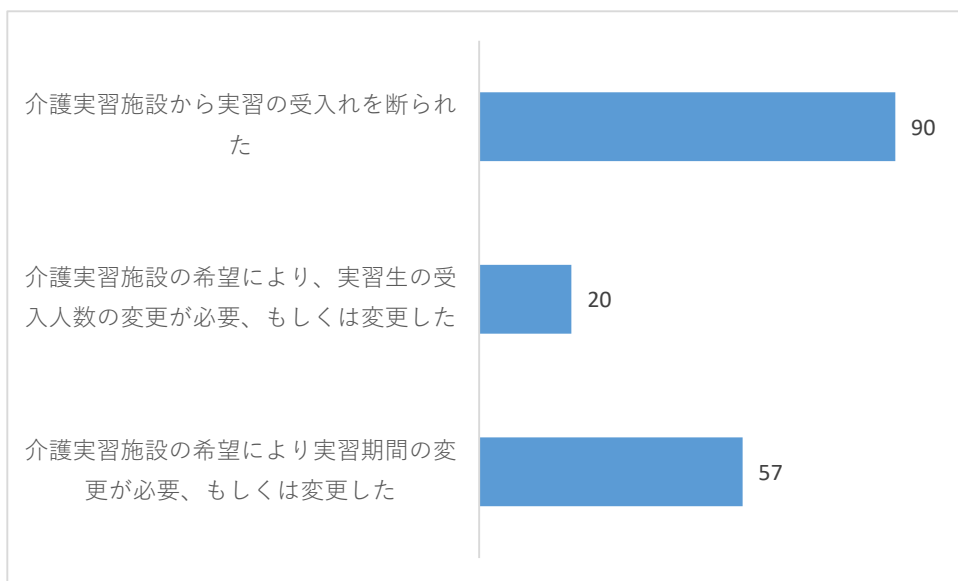


5 介護実習について

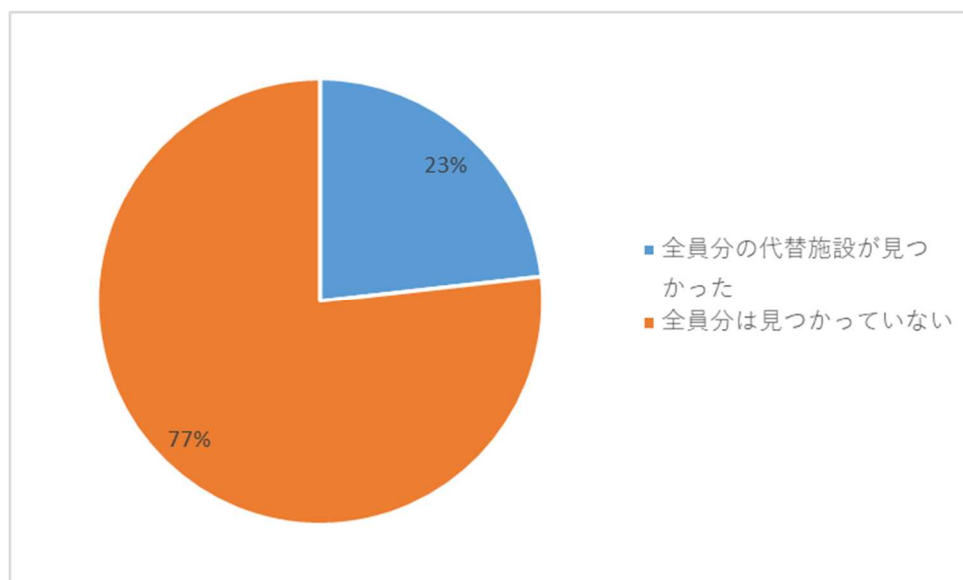
5-1 新型コロナウイルス感染症の拡大により、介護実習先から中止の要望や人数の変更・実習内容変更などの連絡・要望がありましたか(回答数:240)



5-2 介護実習について新型コロナウイルス感染症に関してのどのような変更の要望がありましたか。該当するものにチェックしてください(複数選択可)



5-3 介護実習施設から実習の受入れを断られたり、実習生の人数を減らすことになった場合、回答日現在で、代替の介護実習施設は見つかりましたか。(回答数:112)



5-4 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、介護実習先からの要望以外に関して実習で何か困っていることはありますか

回答は次のとおりです(順不同、受信順に掲載)

- (1) 実習時期がまだ先のため、今のところ施設から要望が出て来ていないが、感染拡大が続くと実習に行けない可能性があるため、その時に実習に行かないで単位を出せるのか(通知では学内演習でも可とするような内容であったがどの程度の演習で実習科目に単位認定してよいか不明)。介養協として国への確認や特例措置の申し入れをお願いしたい。他の養成校や施設でのコロナ関連での対応策など情報も提供して欲しい。
- (2) 実習に関して実習先へまだ問い合わせしていない。一学校だけの判断で実施可否は問えないと考えている。ソ協連は会長声明にて実習延期の通知が発信されていたが、介養協としての見解も伺い判断したいと考えている。6月期に現場実習が入っており、準備を含めると喫緊に判断を仰ぎたい。
- (3) 今後予定している実習の日程で実施しても大丈夫なのかどうか
- (4) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟では当面6月末まで実習自粛要請が会長声明として表明されています。介護実習についての介養協の見解を早急にうかがいたいです。それにより当校の介護実習の取扱いにつき検討したいと考えています。
- (5) 次期の実習が予定通り行えるか不安がある
- (6) 現在実習を中断中
- (7) 現時点では例年通り実習受入承諾いただいているが、今後突然の受入中止などの可能性があり、今後の見通しが立たない。
- (8) 施設からの要望はないが、大学の判断で5月の実習を9月に変更した。
- (9) 新型コロナウイルスに感染していないことを証明出来たら、実習に安心して送り出すことができるし、実習受け入れ先も安心してできるので、検査をできるようにしてほしい
- (10) 実習施設確保と開催時期
- (11) 8月の実施を予定しているが、先送りも検討中
- (12) これから介護実習の依頼をしますので、どのように対応されるかわかりません。実習先が確保できない場合、どのように対応すればよいか悩んでいます。
- (13) 今後休校や実習延期の措置を取るようになった場合、今年度内に実習が実施できるのかどうか。また、実習中止となり校内での演習や課題で振り返りとなった場合、実習の学習効果も考えると代替は難しいのではないかと。
- (14) 実習が期間以内に終わるのが心配
- (15) 令和2年2月28日付の「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」1. 学校養成所等の運営に係る取扱い(3)実習施設の変更を検討したにもかかわらず、実習施設の確保が困難である場合には、年度をまたいで実習を行って差し支えないこと。なお、これらの方法によってもなお実習施設等の代替が困難である場合、実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得する

こととして差し支えないこと。と示されているが、どのように学内実習を想定しているのかについて、具体的にご教示をいただきたい。

- (16) 体調管理と有事対応、実習先への移動手段、演習の運営方法
- (17) 4年生に社福と介護を目指している学生がおり、最終段階実習の受け入れが困難となった場合、学内でのみなし実習内容の在り方をどうするか検討中
- (18) 実習開始が不明で教育計画が立てられない。
- (19) 文科省・厚生省発「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種の各学校、養成所及び養成施設等の対応について(令和2年2月28日)」の通知1.(3)によると、実状を踏まえて施設実習に代えて演習又は学内実習等を実施できる学年は、最終学年のみが該当すると解釈できる。しかし複数の資格取得を可能としているカリキュラム上、実習を次年度に実施することは非常に困難な状況である。よって最終学年以外においても当該対応を認めて頂きたい。
- (20) 特に今はないが、この先県内の感染者が増えた場合に実習の予定が変わるようになるとのこと。
- (21) マスクの着用を求められているが、マスクが手に入りにくい状況にあり、現状が続く場合は対応が難しい
- (22) 実習施設の性質上、学生を実習に出向かせることにより学生が感染者となった場合のリスクが大きいと考えるので躊躇している
- (23) 実習に代わる学内演習の方法について
- (24) 実習期間の変更
- (25) このまま休校が続いた場合の単位認定をどうするのか、また実習に代わる授業展開をどのようにおこなうべきか
- (26) 実習前の準備等の時間の確保が難しい
- (27) 長引いたときに実習ができるか不透明
- (28) マスクや使い捨てエプロン等が手配できない
- (29) 実習時期を遅くしたので、実習施設より要望などはないが、果たして今年度には実習自体ができるかどうか見通しがたちません。従って、実習の単位を取得するにはどのようにすればよいか困っております。
- (30) 現在の状況を鑑み、実習を遅らせるようにしました。しかし、1年課程なので、実際を経験していないことによる学習効果を考えると良くないと思っております。また、感染予防対策が長期になると思われますので、実習ができない状況になったら単位が取得できるのか、どのような手立てがあるのかがわからず困っております。
- (31) 実習の承諾は得ているが、実習開始前に実習が可能か再度確認をする予定だが、できない場合の対応等見通しが立たないことに困っている。
- (32) 受け入れ施設から実習直前に受け入れ中止の連絡があった場合の対応
- (33) まだ実習は始まっていないが、今後断り等が予想される
- (34) 中止となった場合の単位認定について
- (35) 新たな実習先の確保

- (36) 万が一校内実習となった場合の実施基準が不明慮
- (37) 実習施設への依頼はこれからであるが、実習施設の受け入れが可能かどうか分からない。特に、5月末からの訪問介護実習は延期とした。8月からの実習がどうなるか不安である。
- (38) 5月25日から2年生の実習を予定しており、施設に実習の可否を問い合わせ中であるが、まだ未確定な状況である。
- (39) 実習期間をどの時期まで変更(延期)すれば良いのか、変更ができない場合の対応方法について
- (40) 変更後の日程調整
- (41) 1年課程のため、実習開始の時期について
- (42) こみそのまま終息しないで、実習ができなかった時の対応について介護協として国からの指導を受けて知らせてほしい。
- (43) 実習が必要時間履修できるか・予定が立たない
- (44) 実習をさせていただいたとしても途中で断られるのではないかと不安
- (45) ギリギリまで授業をするので、実習を欠席した時の延長ができない。延長すると後期の授業に食い込んでしまうかもしれない。
- (46) 現状で実習をいつ開始してよいか判断がつかず、見込みで動いている。養成校としてどのような判断をすべきなのか迷うところである。実習を演習に振り替える場合何コマの演習科目として設定すべきか判断しかねている。
- (47) 6月の実習が中止となり、その分の実習を夏休みに実施する方向で考えているが、それすら受け入れてもらえるか分からず先が見えずに困っている。
- (48) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今年度(令和2年度)はまだ介護実習先から中止の要望等はありませんが、昨年度(令和元年度)については、介護実習先から中止の要望等がありました
- (49) 養成校側から中止とし、他時期の実習日数の追加をお願いした
- (50) 感染予防の対策の徹底が条件で受入可能だったので今のところはない。
- (51) 実習が断られた場合の代替施設が見つかるかどうか心配である。
- (52) 実習受け入れ施設より拒否の連絡はないが、いつ終息するのかが見通しが立たないため、実習する時期を決めかねている。2年生の最後の実習が年度内で行えるか不安である。
- (53) 要望はなかったが、自主的に実習を中止した。(春休みから夏休みへ先送りする予定)
- (54) ①実習、演習科目の2020年度実施が不可能な場合、2021年度への繰り越しが可能かどうか
- (55) 感染拡大の収束が見えないため、実習時期の設定が困難
- (56) 示されている内容の解釈に苦慮している。学校としての判断が難しい状況にある。
- (57) 調整に労力が割かれるので大変なくらいで、特に困ることはない。
- (58) 実習施設から要望はなかったが日程変更を伝えた
- (59) 8月の長期実習が不可能になった場合の対応をどうするか。
- (60) 個人票等の書類郵送スケジュール調整、実習期間の変更、受け入れを断られた時の補填方法
- (61) 実習がいつ開始できるのか目処が立たず困っている

- (62) 時期が9月下旬開始のため、現時点では双方ともに連絡はしていない。今後時期が時期が近づいてからお断りの連絡があった場合急な実習施設の確保ができるか心配
- (63) ソ教連は6月まで実習をさせないという方針がだされているが、介養協の方針はあるのかが未だに出されていないこと。
- (64) 前年度の実習をいつできるかの見込みがない
- (65) 実習の振替方法。「最悪、学内実習での読み替え」がどのような内容をどの程度の時間数で読み替えられるのか。
- (66) 授業開始の延長に伴う実習期間の変更・調整
- (67) 今後実習が行えるか、特に卒業年次の学生
- (68) 保護者の中には休講を望む声が聞かれるが養成時間の確保との兼ね合いに悩んでいます
- (69) 年度をまたいで実習が終了していない学生がいる。介護実習が夏に予定されており、コロナが収束していない中で配属について進めること。また、実習が予定通り行われなかった場合、演習や模擬実習の方法をどうするのか。
- (70) 予定通りに実習が実施できるか不安
- (71) 実習延期としたが、次回の日程調整も困難である。
- (72) 実習自体可能なのか、できなかった時の対応
- (73) 6月・10月に実習を予定しているが、実習を受入れてもらえるか心配である。
- (74) 学生から実習先の利用者への感染のリスクがあること
- (75) 他分野については、実習の取り扱いについて協会等で指針が出され、確認できるのですが、介護福祉士養成施設にはそのような明確な指針や、外部実習への対応を全国で対応が共有できるようにお願いします。
- (76) 実習生のマスクの調達
- (77) 3月に実習を行った際に、各学生にマスク持参で出勤するも在庫がなくて困りました
- (78) 大学の長期休みに実習を行っている。学科の中の1コースで社会福祉士や精神保健福祉士を目指す学生も学科内におり、介護のみ時間割が独立しておらず容易に実習時期を変更できない。8～9月の実習が困難であれば学内演習に切り替えたいが、時間数や内容の条件に関して厚生労働省の考えをもう少し具体的に知りたい。
- (79) 実習に伴う学内講義をどのように進めていくかについて。
- (80) 授業開催が遅れて定期試験までに15回授業ができるか。遠隔授業が円滑にいくか。
- (81) マスク・除菌用品の在庫不足等
- (82) 実習の開始時期(予定時期に実施できるか)、実習中の学生のマスク確保ができるか
- (83) 今後も収束しない場合、演習に切り替え可能という話があるかと思いますが、実習に値するほどの演習とはどこまでが求められるのか
- (84) 実習の時間数を終えていない学生の学内演習の規定がないこと。
- (85) 収束の時期が見えない中での実習時期の検討。
- (86) 施設は受入れ可でも学校として学生を施設へ送り出してよいか気になる

- (87) 今後、実習が予定通りできるか不透明なことが心配です。
- (88) 期間変更に伴う過密スケジュール
- (89) 1年課程なので全体が急行措置をとった際、後の対応が困る
- (90) 実習期間の確保
- (91) 拡大に伴い時期の変更など必要になったとき、授業の変更が難しい
- (92) 今後拡大に伴い中止の養成がある可能性
- (93) 授業再開の目途、就額期間内のカリキュラム実施
- (94) 授業開始の目途がたたないので、課題、レポートの作成 ya 遠隔授業の準備をしています。これらの授業方法が講義日数にカウントされるのか、ということが心配です。
- (95) マスクと消毒薬等を購入することができず、感染源となってしまうリスクが高いこと。実習を中止した場合の課題や評価について。実習時間数の確保
- (96) 現時点では実習の受け入れについての件で実習先施設からの連絡は受けていないが、従来からの実習先のすべてから受け入れが出来ないとのお知らせが来た場合どのようにしたらよいかが一番の懸案事項である
- (97) 学生の実習施設への移動手段について電車やバスといった公共交通機関の利用が必要となり、その間で感染しないか学生自身も含め不安に思っている事
- (98) 特に聞いていない
- (99) これから実習について検討する予定
- (100) マスクの不足
- (101) 今のところ特になし
- (102) 今のところはない
- (103) 実習ができない場合の学内演習の方法と時間換算方法を明確に教えて欲しい。
- (104) 緊急事態宣言対象地域のため、この先の実習依頼を含めて現在のところ全く予定や予測が立たないこと
- (105) 実習の学生配属が決定してからの実習先様との交渉になるので受け入れ可能かどうか先に聞けないことが、不安材料となっている。
- (106) 実習までに単位取得すべき教科目の授業調整
- (107) 今後、受け入れてくれるのか
- (108) 足並みそろえた実習ができず、学びに差が出る恐れがあること
- (109) 8月以降に実施予定ですので、今後色々出てくると思います
- (110) 実習の受入を拒否された施設が結構でた
- (111) 休校が長引き実習にいくための準備ができないので、実習に行かせられない。
- (112) が終息した場合でも、実習したことが認められるのか？伺いたい
- (113) 10月、11月の実習についても受け入れ拒否との返事があり困っている
- (114) 断られた場合の実習先の確保や代替え授業の方法など。学生数教員数のマスクや消毒の確保など。

- (115) 別になし
- (116) 今後の動向次第で対応が必要であるとする
- (117) 予定している時期に実習が行えるか。行えなかった場合。学修効果の沿った時期に実習がおこなえるのか。
- (118) 今後の状況によって実習を中止する可能性があること
- (119) 実習全体の中止の検討
- (120) 今のところ特に問題なし
- (121) 新型コロナウイルス感染問題が落ち着くまで、実習の受け入れはこの施設も不可能と思われます。高齢者が感染すると重篤化する可能性が非常に高いこともあり、本法人グループの60近くの介護事業所では2月から当面の間面会謝絶・面会制限を設けています。学生が世代的に感染していても無症状の者も多いこと、また、多くの若者が海外旅行やライブ・イベントなどで感染している報道から、リスクを侵してまで実習を引き受けたくないというのが本音のようです。
- (122) マスク不足
- (123) 今後の拡大で、実習ができなくなる可能性がある。他校との調整が必要になると、実習に行かれない学生が出る可能性もある。
- (124) 予定時期に実習ができなかった場合、時期を変えて実習が可能になるか否かの予測がつかない。実習を学内演習に切り替える判断が難しい。
- (125) 感染症の拡大に伴って、介護実習が年度内に終了しなかった場合。
- (126) 休校対処のために実習準備が不十分なこと
- (127) 特になし
- (128) 特にない
- (129) 今のところはありません。
- (130) 実習受入が困難な場合日程の確保
- (131) 5月からの実習が可能かどうか
- (132) 実習に代わる授業・演習について
- (133) 本年度の実習可否
- (134) いつ状況が悪化するかわからないため、実習や授業の実施が予定通り実施できるかわからないこと。休校をした場合補講で消化できる時間的余裕があまりないこと。
- (135) 特にないが、実習の開始日については、学校から変更の要望をお願いした。
- (136) 実習を受け入れてもらえない
- (137) 実習時期の目処がたたないこと。学校内での実習を代替する場合の実習内容。学生自身が介護現場を体験できないこと。
- (138) 実習に行けなかった場合や途中で感染者が出て中断された場合、介護過程展開の実習で連続して150時間以上の実習ができなかった場合の対応(特に卒業年次の学生)をどうしたらよいか。感染予防のための石けん、消毒液、マスク、エプロン等の補充ができない場合。
- (139) 夏季実習ができるか。できない場合、社会福祉士実習との兼ね合いから補講期間の確保ができる

のか。オンライン授業時の演習系科目の取り扱い。

(140) 実習しない場合の代替可能内容の詳細

(141) 実習生受け入れに対しての検討が十分されていない施設がほとんどである。実習の実施が困難となった場合、どのように振り替えて学習を計画したらよいか十分に理解していないので不安。「例」でもあれば参考させていただきたい。

(142) 介護福祉現場で感染がおこっている状況において、いつ実習が可能となるのか不明な中、実習そのものをどうするのか検討してほしい。

(143) 今後の感染状況によっては、受け入れが難しくなるのではないか？

(144) 実習伺いは4月末予定。実習受け入れの目途が分からずカリキュラムが確定できない。また、効果的な実習にならない。卒業年次は期をまたげないので、受け入れが難しい場合の実習時期、実習代替内容は検討中である。

(145) 実習先が今後見つからない場合に、実習時期が確保できず、国家試験への影響も出る可能性がある

(146) 学生本人、もしくは家族から行きたくないという申し出があるのではないかという懸念

(147) 当初の日程を(5月)自粛する予定

(148)

(149) 本科は1年課程のため、すべての介護実習が日程通り終了できるかどうか検討中です。学内における代替実習が認められるのか、また、どのような条件で可能なのかをお尋ねしたい。

(150) 介護実習を学内でどのようにプログラムを立案して教育するかが難しい。

(151) 8月に実習を予定しているが、まだ実習に関しての話をしていない。

(152) 実習時期の検討

(153) 実技・演習系の授業そのものをどのようなスタイルで実施できるのか、検討する材料がない

(154) 実習先からの受入拒否等はなかったが、養成校として実習時期の延期を申し出た。実習全般に対して困っている(時期の再調整、受入確認、実習先との連携の在り方、実習内容の再検討等々、挙げだすときりがない)

(155) 新年度の実習について計画が立たない

(156) マスクや消毒液が不足している

(157) 今後の実習受け入れ拒否について

(158) 基本的に高齢者施設では入室禁止になっており、実習自体が難しくなりそうで、代替えとなる案を協会を出してほしい。

(159) 授業時間を確保できるか見通しが立たない。

(160) マスクが足りないという学生がいた。学科にも備蓄がないので困った。

(161) 実習代替案、今後の実習についての不安(全く実習が不可能なら国家試験を受けられるのか)

(162) 実習の実施について、断られた施設は別として、無理すればお願いできる施設で、実習をやっているのか、それとも無理にはお願いしない方がいいのかの判断に困る。学生は春休み明けでもあるし、もし実習中に新型コロナウイルスの症状がでた場合などのリスクを考えてしまう。

(163)実施の有無の判断、その基準など

(164)万が一実習中止になった場合は、校内実習室等での演習で代替せざるを得ないが、特に2年生は最後の実習になるため、実習を通した介護過程の展開も図れない。実習延期であれば何とか再調整も見込めるが、結果として中止となると卒業生にとっては教育上の不利益を危惧する。

(165)実習が断られた場合、学内での演習・実習に置き換えても良いとなっているが、どのようなプログラムを作ればいいのか分からない。

(166)マスク不足

(167) * 交通手段の確保(公共交通機関によっては時間変更などがあった場合、実習先までの移動に困ることが生じる可能性がある。* マスク不足への対応(学生各人において準備させているが、現在手に入りにくい状況があるため、指導に配慮が必要となる。))

(168)現状では特にない。

(169)現在、許可をいただいている実習施設から今後の状況によって、断れる可能性もあることへの不安。その際の実習をどうすればよいかなど。

(170)受入見送りの実習先と実習時期について

(171)7月からの介護実習中のため、5月中旬以降から調整予定であるが、介護実習を実施できるか懸念しているところである。

(172)8月の実習を延期すべきか。実習ができない場合置き換えはどうか？

6 その他授業などに関する質問について

6-1 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い授業に関して何か配慮をしていますか(例えば生活支援技術に関して教える内容を変更したなど)

回答は次のとおりです(順不同、受信順に掲載)

(1) マスク着用、換気、間隔をあける。など

(2) 学校を毎日、教員が消毒

(3) 休校中のため、現在検討中だが、内容は変更せざるを得ないと考えている。

(4) 接触を兼ねる実技や調理実習については、実施方法について検討中である。また、講義科目においても演習やグループワークの実施について検討中である。

(5) 生徒間の距離を取る。演習で生徒同士が密着しないように工夫したり内容を変更する。

(6) 実技の試験を取りやめるなど変更あり

(7) 生活支援技術で、身体接触の少ないものから行うように変更した。手作りマスクの作成やベッドサイドの消毒など、介護福祉士として必要と考えられる感染予防対策を新たに追加し行う予定である。

(8) 現在は座学を中心に実施している

(9) 授業実施における対策マニュアルを策定し、実施を徹底している。

(10) ネットでの遠隔授業を開始するに伴い、演習・実習を後半に変更した。

- (11) GWを避ける 換気 席の間隔をあける
- (12) 生活支援技術では、対人での演習をやめ、人形を活用した演習に切り替えることで接触を避ける予定
- (13) 現在、学生が満員電車に乗らなくてもいいように、検討しています
- (14) 只今検討中
- (15) 教室を変更するなどして、学生の間隔を確保 マスクの着用など
- (16) グループワークや実技系の科目は、マスク等を着用することにした。席の間をできるだけ広くとった。
- (17) 実技はグループ分けをして、1限の受講数人数を少人数にて実施
- (18) 対象入学生がおりません
- (19) これから検討
- (20) マスク着用の徹底、教室の換気、互いの距離を1～2m程度あける等
- (21) 対面を避ける授業への取り組みを検討
- (22) 演習形式の授業は内容や方法を見直す必要があると考えている。
- (23) 生活支援技術の自習室使用人数を減らして対応する。
- (24) 検討中
- (25) オンデマンドやオンライン授業の導入
- (26) 現在、教える内容などを検討している。
- (27) 現在検討中だが、当面の間は生活支援技術で行う実技を延期し、座学のみにする予定。また、その他の講義に関しても極力学生や教員が対面にならないような机の配置や授業構成、希望する講師には遠隔授業の実施、状況によっては e-ラーニングを活用するなど柔軟に対応できるように整えているところである。
- (28) 換気、検温、マスク、消毒、手洗いの徹底
- (29) 身体接触を避けるため、授業日を延期し、かつ休講、補講で対応
- (30) マスク 換気の実施。介護技術の授業をどう実施すべきか検討中。
- (31) 感染予防のための授業を実施する予定
- (32) 人数の多い1年生の教室を臨時的に図書室へ変更
- (33) 介護総合演習で感染予防手技について追加
- (34) 三密にならないような授業環境と授業の工夫をしました。まずは、感染予防の講義と実技を行いました。
- (35) 授業環境を整え、授業内容にも密接することなくできる内容に工夫する予定です。また、学生への感染予防への講義や演習をまず行う予定です。
- (36) 机を離す・手洗いやうがい・換気の徹底をしている。また、生活支援技術も当面は学生同士の距離が近くならないような演習を行う予定。
- (37) 演習授業を延期した。介護実習室の消毒
- (38) 学生同士が接触するような内容の授業は控えている。
- (39) 検討中

- (40) 濃厚接触を伴うような演習の内容変更
- (41) 自宅学習への変更
- (42) 消毒、換気、距離を置く、マスク着用
- (43) 生活支援技術の教示内容を変更した
- (44) 換気の徹底
- (45) 机の間隔を広げた、窓を開け換気扇を使用して換気をおこなう、マスク着用指導、手洗い指導、朝
屋の検温
- (46) グループワークを極力行わないこととなったので、授業内容の変更が必要。教室の机を間引いて、
2/3 に減らした。授業時は窓を開放する。生活支援技術の演習時は、手洗い、うがい、マスク着用、
ユニホームの着替えと洗濯の徹底。
- (47) 生活支援は座学を中心に、状況を見ながら演習を検討していきたい。
- (48) 3密を避けるための配慮(教室の換気、机の間隔を考慮した配置、演習形式の授業の取りやめ)な
ど
- (49) 講義科目がオンラインでの授業を予定している
- (50) 手洗い、うがい、消毒の徹底
- (51) 1年課程は次年度に送ることができないため、現在、検討しつつ身体介護技術をどのように教授す
るか苦慮している
- (52) 視覚教材の活用
- (53) 座学については、教室の換気を行うなどの基本的な対策はとっているが、演習については十分な
スペースをとることもできず、現在対応検討中です。他校で工夫している点などを知りたい。
- (54) 休校措置
- (55) 換気、グループワークをしない、演習の工夫
- (56) なるべく、広い教室を使うようにした。生活支援技術では、マスクを使用しなるべく学生同士の接触
を減らすように配慮する。
- (57) 講義科目を可能な限り前倒しに調整し遠隔授業にて対応
- (58) 休講中、課題・レポートで対応
- (59) オンライン授業を検討している、生活支援技術は人数を減らして実施することも検討している
- (60) ・グループワークの禁止・授業中 1 回は休憩し換気する・テーブルはアルコールで拭く・演習は対面
をしないものからの演習
- (61) 今のところ特に講じていない。休校のため。
- (62) 特になし(授業開始前であるため)
- (63) まだ授業を開講していないので具体的な対策は今後検討する
- (64) まだ授業は行っていませんが、授業中、人との接触をさけるため、グループワークはしない。また、
生活支援技術は前半は講義中心で後半に実技演習等を行うように変更した。
- (65) ZOOM によるオンライン授業の実施準備。マスク着用や着席位置、換気などのマニュアル作成
- (66) 実習、演習の時期の変更

- (67) 演習授業の実施方法の変更
- (68) 教室換気の徹底。座席間隔の拡大。教室変更。マスク着用の励行、咳エチケットの徹底。演習・実技科目の身体的接触等の回避。その他、検討中。
- (69) 授業時間数の充足
- (70) 生活支援技術では、グループを分けて小グループにする予定。細部はこれから検討する予定。
- (71) 授業を開始しても当面は講義を中心にする
- (72) 授業の内容変更、動画などを撮影して密着を防ぐなど、検討している
- (73) 休校中の課題作成・郵送
- (74) 身体接触のある演習は学生同士ではなく人形を使って演習を行うことにした。
- (75) 講義科目を課題で対応
- (76) 講義形式の授業科目は manaba を利用する。生活支援技術は利用者役に人形を使用するなどの工夫を考えている。
- (77) 生活支援技術は接触を避ける内容を検討。調理実習は自宅で作ってレポートにまとめる等検討中。
- (78) 情報を収集し授業の進め方を検討している
- (79) 登校はさせずオンラインにて授業している
- (80) 必要に応じて今後検討
- (81) 非常勤講師と対応を調整中
- (82) 技術演習の科目に関しては開講時期の変更をした
- (83) シラバスの変更
- (84) 検温実施の義務化、授業中の学生、教員のマスクの着用、開校時間の短縮
- (85) 学生同士の身体の密着や接近を避ける演習に変更。食事入浴排泄移動などでは、
- (86) 現在検討中
- (87) 窓を開けたままで、座席の間隔をあけています。生活支援技術は後ろにいくように時間割の変更を行いました
- (88) 授業開始が 5/11 スタートのため、授業の実施方法について検討中。
- (89) 現段階では、まだ授業を開始していない
- (90) 授業を行っていないので、現状では特になし。
- (91) 課題対応と併せて指定登校日を設けた
- (92) 前期は座学と DVD で対応しようと思う
- (93) 生活支援技術の演習をしばらく控えることにした。
- (94) 授業開始前後の手洗い、マスク着用、換気、可能な限りモデル人形を使用する
- (95) 授業変更は、現在なし
- (96) 特にしていない
- (97) 特に今のところない
- (98) 生活支援技術演習で教える内容を検討中
- (99) 3密を避けるように工夫して対応

- (100) 介護総合演習の教授法と実習前の面接の方法を検討した
- (101) 登校時のアルコール消毒、教室の席の間隔、定期的な換気
- (102) 検討中。4～5月は学生どおしの密着を避ける方法を模索中
- (103) 検討中
- (104) 生活支援技術に関して教える内容を変更。教室の定員 50%以下。消毒の設置。手洗いなどのポスター掲示。
- (105) マスク着用で密着行為はなるべく避けた実習指導
- (106) 席の間隔をあける、レポート課題により代替措置、開講時期の変更、マスクの着用、手洗い、手指消毒、教材の消毒など感染予防対策
- (107) 実技演習の時期を検討中
- (108) オンライン授業で行う予定
- (109) 授業開始は予定通り実施したが、4月7日午後から4月19日までを休校とした。5月11日から予定していた実習(4週間)は9月に延期し、2週間現場実習+学内実習2週間分に対応する予定
- (110) 4月19日まで休校としたため、今後内容等は検討する。
- (111) 特になし
- (112) まだ、新学期の授業を開始していませんが、生活支援技術の実技授業をできるだけ、後半にずらす検討をしています。
- (113) 検討中
- (114) ベッドは、一人に一つ、人形を使い行っている
- (115) 課題を課して自学自習を増やした
- (116) 衛生管理の時間を増やした
- (117) 感染症に関して特に伝えている
- (118) 座席の間隔を広くする 消毒薬の設置 マスクの着用 体調不良者の欠席 県外への報告
- (119) 技術の授業はまだですが、視聴覚資料の使用を考えています。練習時間の確保が難しく評価に大きく影響してくると予想されます。不安です。
- (120) 検討中
- (121) 実技など密着する授業を後半にしている。介護過程は遠隔授業で実施しようとしている。
- (122) 実習室では手洗いを徹底し、マスク着用を原則。対面授業は連休明けから開始の予定
- (123) 各授業の間に換気の実施
- (124) 現在、休校中のため、対策中
- (125) 生活支援技術の授業内容変更
- (126) 生活支援技術の実技実習を学期の後半に変更
- (127) 各授業において、生徒や教員同士の接触をなくす授業方法に変更予定
- (128) 講義内容の変更予定(実習関係など)
- (129) 授業が開始が一月延期になります。1年生の場合は授業はまだ受けていませんので、配慮と言われても困ります。当校も極力させない方向ですので、自宅学習として何をどのようにさせたらよいか

が喫緊の課題のなります

- (130) 授業は予定通りの日程で開始したが、多くの学生を集中させないようクラスで振り分けて日替わりで授業を実施・こまめな教室の窓の開放と学生の座席間隔を空ける・グループワークを行わない(密着といった密接になる内容の授業を現段階では行わない)
- (131) 講義科目を前半、生活支援技術など密接になってしまう演習は、後半とし、今後の状況によって変えていく予定。学生の消毒などはもちろんであるが、使用物品の消毒の徹底など三密を考えている。
- (132) 授業の組み換え
- (133) 詳細は授業が始まったときの状況で対応していくため現時点では特になし
- (134) 授業の進行の変更、一時中断を考えている
- (135) 現在、緊急事態宣言が出されている間の対面授業が行えないため、学期後半で対面授業ができることを前提に教える順番を入れ替えるなどして対応している。しかし、先がどうなるかわからず、技術系の科目はこれから情勢を見ながら検討せざるを得ない状況にある。
- (136) 各学年に、課題を出して自宅学習をしておくよう一斉通知する。課題内容、提出方法、評価方法など明確にして、成績集計の対象とする。
- (137) 生活支援技術の内容変更(実技を後期にまとめる)
- (138) 人形の活用 座席指定およびスペースの確保
- (139) 学生をなるべく通学させない方針なので、じゅぎょ内容を変更せざるを得ない。
- (140) 緊急事態宣言を受け、本日から休校しました。
- (141) 毎朝全学生に検温している
- (142) 本日休校の延長が決まり、新入生は5月7日まで1回も学校に来ないことになった。授業に関してはこれから考えなければならない。
- (143) 家庭学習ができるよう課題を作成している
- (144) 教室の窓を開けるなど換気に注意、学生にマスク着用を促す
- (145) 授業間、休憩中の換気。座席間の確保、授業開始は今後追って流動的に対応していくことになる予定。
- (146) 法令に基づき、教職員、および学生の遠隔授業を開始。
- (147) 現在検討中であるが、密を避けるための方策はかなり困難である
- (148) 学内での消毒の徹底、換気の徹底、席の間隔をあける
- (149) 自宅学習
- (150) 補講がとれない場合、レポート等で対応したい。
- (151) 席の間隔をあける、マスク着用、換気など
- (152) 3 密にならないよう、席間隔をなるべく広く取り、窓開けての授業を計画しています。また、マスクの着用を義務付けるため授業で洗濯できるマスクの作成を行い、素手で触ることがないように手袋の着用の義務付けも計画もしています。
- (153) 一定距離の机の配置等
- (154) アルコール消毒、換気。濃厚感染をなくするため、ビデオを見て人形で演習をする等で、学生同士

- の演習をしない。3人掛けの机には、2人掛けにして接触を予防している。
- (155) 大人数受講科目は、教室を分散させ中継(双方向)授業とする。30分ごとの換気、学生の座席を離す。ドアノブの消毒。接近して話すグループワーク時間の短縮。緊急事態宣言が出ている自治体から来られる予定の非常勤講師の授業を当面休校とするなど。
- (156) グループワークや演習に関して、内容や授業方法の変更。
- (157) 休校
- (158) 今は、休校処置のため配慮していない。今後考える予定
- (159) 当面技術やグループワークのない授業を行う
- (160) 今時点で検討中
- (161) 現在、検討中。
- (162) 接触を避ける授業内容に変更
- (163) 実技より講義を前倒しで行う
- (164) オンライン授業
- (165) 授業を開始していない
- (166) 座席の感覚を大きく開けていることと、グループワーク時の学生間の距離をあけている。
- (167) 生活支援技術に関しては、介護技術演習について授業内容の変更を検討している。
- (168) 実習日程の変更に伴い授業の変更も行った。
- (169) 生活支援技術(介護技術)に関する授業においては学生同士での演習はさけて人形での演習を検討している
- (170) 演習科目等の開講時期の変更やシラバスの演習内容を順序を変える、授業でのグループワーク等における授業の工夫、配布物の配付方法、教室(机・いす等)や演習などで使用した器具等の消毒、介護実習の時期を延期したり、施設種別の見直し
- (171) 授業延期している
- (172) 1メートル以上離れさせる・グループワークをしない等
- (173) グループワークの中止や、接触を控えるような配慮は考えているが、まだ具体的には決まっていない。
- (174) 6月5日まで対面授業が全面的に中止となり、配信で授業を始めることとなった。実技やグループワークは対面授業が可能となるまで延期せざるを得ない状況である。
- (175) 席の間隔を明け、常に窓を開けている。自宅へのウェブ配信授業開始
- (176) 検討中。
- (177) 遠隔授業の導入も今後検討する
- (178) 最初の授業で感染症対策の授業を実施。また、実習時期と授業開始の日程が後ろ倒しになったので、全面的な授業内容の変更を行った。
- (179) 3密への配慮、換気、毎時間手洗い等
- (180) 密着する介護技術に関しては人形を使用する予定
- (181) 現在、検討中

- (182)まだ授業を行っていない。
- (183)今のところ具体的には教員レベルで検討している
- (184)遠隔授業を実施予定
- (185)グループワーク等対面で会話をする授業形式は取らないことを検討中。
- (186)換気・マスクの着用、3密を避けた対応
- (187)演習授業は極力人形等で対応し、直接の接触を避ける。手指消毒、マスクの着用、換気
- (188)講義を前半戦に後半に演習をする。また、座席を2Mほど間隔をあける。授業内容を個別での演習に置き換えるなど
- (189)全学生へ「アピール文」を配布し三密(密閉空間、密集場所、密接場面)の徹底排除を図った。そして、学生たちにも認識・判断・行動への大切さを提示した。
- (190)座席配置、90分授業内での45分経過時の教室換気、マスクの着用と手洗いの励行、アクティブラーニングの内容変更、実習ができないので手洗いチェッカーによる手洗いの演習とマスク作成の演習を取り入れる予定
- (191)マスク着用、手洗いの徹底、消毒液の設置、定期的な換気を行う教室で授業する
- (192)接触等が懸念される演習内容等の後ろ倒しなど
- (193)万が一休校や学生に出席停止を通知した場合を想定し、テレビ会議システムを用いた授業について検討している。
- (194)換気をしながら行う、授業の前後の手洗い
- (195)帰国困難により授業が受けられない留学生に対し、学習の機会の確保に努めている。(授業をビデオに撮る。学習を促すための課題の作成)
- (196)現状では大幅な変更はない
- (197)現在はないが、今後検討していく予定。
- (198)科目によっては開始時期の延長
- (199)対面援助技術を当面ビデオ学習へ、教員がデモ
- (200)新学期開講を2週間延期した。生活支援技術系は動画配信を行う予定

6-2 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い授業以外に学校を運営していくうえで何か配慮していることはありますか

回答は次のとおりです(順不同、受信順に掲載)

- (1) 上記内容。体温測定と日常の体調確認など
- (2) 注意喚起、対応のマニュアル的なものを作成
- (3) 遠隔授業や通信での授業展開ができるか検討中。学生募集が展開できない。
- (4) 感染対策の周知と実施
- (5) ・基礎疾患を持っている生徒に対する遠隔授業・コロナウイルス感染の症状(感冒の症状)に対し、

出席停止とし、欠席とカウントしない・教職員時差出勤、健康チェック・海外研修の中止・学外実習の中止及び延期・学事予定の変更

- (6) 分散登校、教室消毒、マスク着用、学生の体調管理記録など
- (7) 可能な限りの自宅勤務、会議時の3密を避ける、時間短縮など
- (8) 感染予防対策強化(校内の消毒、手洗いうがいマスク着用の徹底、換気など)
- (9) 授業環境(換気・消毒など)の整備
- (10) 校舎内の消毒・学生向けマスクの準備・教室の再編成(中・大教室の活用)
- (11) 授業以外でも、新型コロナウイルス感染防止の対策を周知徹底している。
- (12) 学生の面談方法について検討中である。奨学金手続きの延期をおこなった。
- (13) マスク着用 共用箇所および使用場所の消毒の徹底・検温実施
- (14) 定期的な換気と、アルコール消毒液の設置、向かい合わせにならないようなテーブル配置の工夫など
- (15) 朝、学生教職員に検温させ記入させています。掃除では取っ手やトイレのハンドルなど消毒しています。また、授業中教室はドアを開放し、換気も促しています。
- (16) 行事等の中止または延期
- (17) 4月14日から全学休校(4月13日決定)
- (18) 昇降口で手指消毒後、チェックリストによって熱や風邪症状の確認、手洗いをさせ教室に入っている。授業終了後、5分間換気。発熱等がある場合、電話連絡の徹底。
- (19) 今後の休校措置となった場合の対応について協議
- (20) 対象入学生がおりません
- (21) 現時点では、休校対応
- (22) 朝の体温測定・体調チェックとその報告等
- (23) オンライン等の活用、全学的な感染予防対策
- (24) 会議の在り方を対面式ではなく、ネット会議が可能か検討中
- (25) 授業中の換気、生徒間の距離を空けて座るようにする。マスクの励行、消毒用アルコールを各教室へ配置。雑巾からペーパータオルに変更し、使い捨てる。
- (26) 検討中
- (27) 学生への感染予防に係る随時の注意喚起 等
- (28) 例年4月から予定していたボランティア活動や学外活動、学外授業、高齢者や障害者との地域交流を中止にした。
- (29) 授業が開始されると建物内の学生数が1500名を超える。そのため、登校時間の分散や、手指消毒をはじめとする予防の徹底、学生の健康管理など、できる限りの対策を講じている。また、感染予防対策チームを発足し随時話し合いの場を設けている。
- (30) 現在、把握しきれっていない
- (31) 来学の際の手洗い、マスクの指導、密集空間を避けるための方策など
- (32) 3密の解消、手指消毒などを徹底した

- (33) アルコール消毒、マスク
- (34) 毎日数回の換気及び学内の消毒を徹底している
- (35) 職員の検温実施。
- (36) 学生、教員を関東圏に行かないよう通達
- (37) 感染に関する体制づくり、毎朝の検温と体調のチェック、授業環境を整える等
- (38) 学生への検温や体調確認の徹底、環境を調整したりしています。
- (39) アルコールや次亜塩素酸ナトリウムの購入している。施設側への新型コロナ情報の対策や開示等の文書を発送など
- (40) 学生に対する一日3回の体温測定及び健康チェック。教職員に対する3密の徹底等。
- (41) 当面の間、午前中だけの授業とした。
- (42) 出張等の自粛、子供を持つ職員への配慮等
- (43) マスク着用、換気、手指消毒
- (44) 授業で使用する物品や設備の消毒（机、椅子、ドアのノブなど）
- (45) 外出の自粛、手洗い、うがい
- (46) マスク、消毒液の在庫がなく、学生の健康が守られない
- (47) 短縮授業
- (48) 4月8日～21日まで休校、22日～5月6日の間については検討中
- (49) 健康管理、消毒
- (50) 現在休講中であるが、休講中も各自が健康観察と行動履歴を記載することとしている。万が一健康状態に変化があった時には、担任を通して学校に報告することを義務とした。このことは、学校が再開されたときにも継続する。
- (51) こまめな換気、消毒、マスクの着用、大人数での会議や打ち合わせを避ける など
- (52) 授業開始時期の延期、休講期間中の学修課題などを、学生向けの一斉メールで配信している。
- (53) 消毒液の設置、授業中の換気、マスク着用の勧告、学校備蓄のマスク配布
- (54) 教職員の執務室を分散して、徹底した換気と手洗いの励行を実施
- (55) 手指消毒、検温、教室内換気の徹底
- (56) 感染対策のマニュアル作成と徹底、教職員の健康管理
- (57) 一般的な留意点への配慮。授業開始の延期など。
- (58) 休校措置
- (59) 消毒液の設置、時間差の昼食、机間を空けるなど
- (60) 登校時の検温、授業と授業の間の休み時間での換気、手洗いとうがいの徹底
- (61) 県の学事課の指導に従い実施
- (62) 留学生で春休み中帰国し、再度日本に入国した場合は、国ごとに区別なく、体調管理指導、2週間の外出を控えるよう党指導し、授業等に支障がある場合は、補講・課題等に対応する。
- (63) 教職員の会議を短縮しオンラインで行う方向で検討、職員の交替勤務を検討
- (64) 来校時のうがい、手洗い、消毒の徹底。検温結果で37.3℃以上の場合は受講不可。換気の徹底な

ど

- (65) 換気、手洗い、消毒、うがいを促す。校内に入る前に検温を実施。アルバイト状況の確認。不要不急の外出の自粛の指導
- (66) 学校内の消毒・学生、職員の手洗い・うがいの徹底、マスク着用など実施し、学生たちには不要不急の外出は控えるよう通達している。感染者を出さないよう早めの対応を心がけている。
- (67) 対策本部が検討中
- (68) WEB 授業を開始した
- (69) 休校対応、分散登校、感染予防教育
- (70) 現在、検討中。
- (71) 授業時間数の充足
- (72) 会議等の zoom 活用
- (73) 新型コロナウイルス対応ガイドラインの作成
- (74) 新型コロナウイルス予防措置
- (75) 感染防止のための対策(3つの密をさける)を徹底する。毎朝登校時に全学生がその日の朝の健康状態を明記した「健康カード」を提出してから教室に行く。登校時刻を30分遅らせる。
- (76) 学事日程の見直し
- (77) 在宅勤務になることにより、学生、保護者などからの問い合わせに対応するため、お問い合わせ専用メーリングリストが作成された。
- (78) 在校生の健康診断等 3 密を防ぎながら実施した。
- (79) キャンパスを封鎖し、学生に感染予防に心がけるよう注意を促している
- (80) 可能な限りの感染防止
- (81) 必要に応じて今後検討
- (82) 学生がスマホやパソコンなどを持っているかについて調査した
- (83) 学生を登校させずに諸手続きをしてもらうためのオンライン対応の確立
- (84) マスク着用の徹底、消毒用アルコールの設置、可能な限り学生間の距離を確保した環境設定
- (85) 登校禁止
- (86) 学生の通学。学生、教職員のマスクの確保
- (87) 休み時間に学生同士が密集しないよう指導。対面した状態での食事の禁止。
- (88) 学生全員のマスク着用、登校前の検温と報告など
- (89) スクールバス乗車の人数制限、換気、席を離す、手指消毒、マスク着用など
- (90) 通学時間の変更と 3 密を避ける室内配置にした
- (91) オープンキャンパスの実施方法
- (92) 検温、問診、手洗い、消毒液設置、換気、1.5～2mの間隔をあけての座席配置、任意でマスク等の対応
- (93) 感染予防の徹底
- (94) 行事や交流会の中止

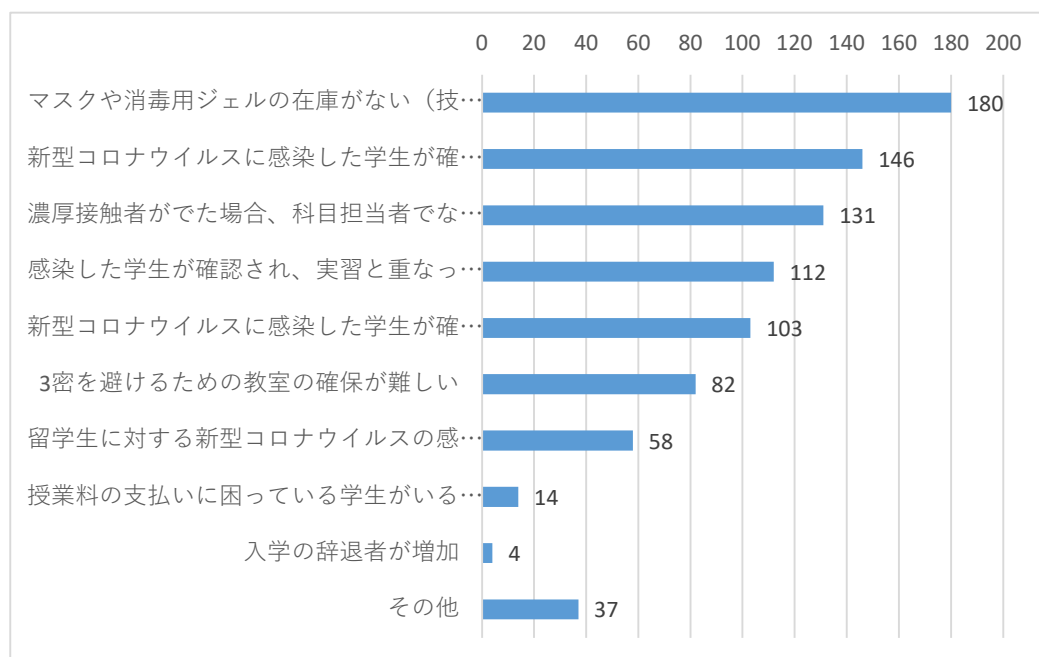
- (95) 学生の健康管理、モチベーションの保持
- (96) 手指消毒の徹底、広い教室の確保
- (97) 3密を避けること。各自の健康管理の把握、外部業者の出入りの制限。
- (98) 消毒液の正しい知識の周知
- (99) 外部からの入校を制限しております
- (100) 感染要望のため、マスク着用と手指消毒等
- (101) 学生達の健康観察を毎日実施。担当教員からのメールで安心感を伝えるなど。
- (102) 換気と除菌対策だが、アルコール除菌が底をついてきた。
- (103) 学食や学生ホールでの3密を避ける対応、手洗い、うがい、咳エチケット、手指消毒の励行、サークル活動の中止または延期、各種行事、イベントの中止または延期、図書館の休館
- (104) 換気、手指消毒等
- (105) 教職員についても勤務体制・時間、方法の変更により感染防止、BCPを追求している
- (106) 来校者には、記名、検温及び消毒をお願いしている。
- (107) 登校時の検温、手指消毒・換気の徹底、在校生の授業を休講にした
- (108) ガイドラインに沿って運営しています。
- (109) 休校や教員の自宅待機
- (110) 住環境:効果的な換気の仕方、食:感染防止のための食 衣:マスクの作り方など、入れ込む
- (111) 手洗い(アルコール消毒)の励行、体調確認
- (112) 手指消毒、机等の消毒薬、ハンドソープ、ペーパータオルの設置。換気の徹底など
- (113) 感染学生に不利益がないように配慮
- (114) 学生登校時に手指の消毒、検温、マスクの着用、換気
- (115) 行事の延期や中止
- (116) 地域行事を中止しました。
- (117) イベント・部活の中止
- (118) 学年・コースごとの分散授業を実施予定。食事時間を含まないように登校時間の短縮。保護者に対しての連絡。
- (119) 定期的に学生および非常勤の先生へ健康状態の把握
- (120) 教職員は、可能な限り在宅勤務を行う。会議の自粛。事務室以外の部屋を利用し、業務を実施する。
- (121) 手指アルコール消毒、マスク着用、換気、手洗いうがい実施、検温実施
- (122) イベント等の中止・教職員の健康管理・外自粛の養成等
- (123) 消毒液の設置・換気・席を離す など
- (124) 授業時間終了毎の換気、常に学生や教職員の体調を気にする
- (125) 換気やマスク着用、手洗いうがいの促し、アルコール液の設置を行う
- (126) 3つの密にならないよう配慮予定
- (127) 講師の協力が不可欠である。

- (128) 職員が感染しないように職員室等の換気、マスク着用、手洗い、うがい、健康チェック等の徹底など
- (129) 環境整備(消毒など)、下宿など一人住まいの学生の健康状態の把握、健康診断の対応など
- (130) 換気、座席の間隔、手洗い・消毒、マスク等
- (131) 現在は学生を登校させていない
- (132) 3密を防ぐ取り組み等
- (133) 現在は大学に来ること自体が全面禁止されている。
- (134) 教職員教職員の出勤日数、出勤状態について、3密を避けて
- (135) 学生の不安に対するオンラインでの情報発信
- (136) 寮の管理
- (137) 教員の在宅勤務
- (138) 休校中は定期的にメールなどで課題に取り組みます。
- (139) 外出の自粛を徹底
- (140) 学生は登校時まず手を洗い、検温をして異常がなければ教室に入るようにした。発熱などの症状が見られた場合は問診し、異常があれば帰宅し様子を見ることとした。
- (141) 4/6～4/19 は授業中止、4/20～5/6 登校日を決めて 10 名以下の少人数ずつ登校させて課題を手渡したり受け取ったりする
- (142) 学生が登校時には検温と体調確認を行っている、アルコールでの手指消毒
- (143) 行事中止や変更の配慮など
- (144) 環境整備・入校時検温の徹底・マスクの着用・手洗いの徹底
- (145) 消毒やマスク着用など、命を守ることを優先として進めている
- (146) オンライン授業の検討
- (147) 毎朝検温、体調確認して用紙を提出する、手作りマスクの作成
- (148) 学生・教職員が感染すると本校のみならず岡山県全体の養成校の実習が全て中止になるかもしれないという危機感から、「貰わない」「うつさない」の啓蒙や環境整備をはじめとした感染対策を徹底することを考えています。また、現在、進学ガイダンスや校内ガイダンスの中止、高校訪問の自粛など学生募集活動も制限されてきていますので、今後は予測される景気後退に対応した募集活動を視野に入れていきます。
- (149) 手指のアルコール消毒、始業時間の変更等
- (150) 感染予防教育、体温チェック、消毒
- (151) 学生に対するステイ・ホームの指導。ゴールデンウィークもできれば帰省せず新見市内で過ごしてほしいことの指導。緊急事態宣言をしている自治体への移動の制限。症状はどうか、体調不良者は登校せず、保健管理センターへの電話連絡を義務付け、一括把握・管理をする。学生連絡用システムを用いて毎朝、体調連絡をさせる。
- (152) 三密にならない配慮を行っている。
- (153) 休校
- (154) 職員でマスクを制作して配布。毎朝学生はロビーで検温職員は 1 日 2 回全教室の消毒。

- (155) 検温の必須、換気、発熱などの症状による欠席及び遅刻、早退などに対する配慮(公認欠席と認める)などなど
- (156) マスクの義務化 1時間の換気 毎日共有器具の消毒 毎日の検温
- (157) 毎朝の検温とうがいと手洗いの実施
- (158) 学生の動静・検温・換気の徹底
- (159) 学生の体調管理、学生への確実な情報提供
- (160) 授業を開始していない
- (161) 登校時玄関にて検温、入館時マスク着用の徹底、毎時間後の手洗い、業間での机、イス、手すり、取っ手、スイッチなどの消毒、常時換気など。
- (162) 毎日の検温チェック、手洗い、うがいの周知徹底。3つの条件が同時に重なる場を避けるように努める。
- (163) 手洗いうがいの徹底・検温・マスクの着用・喚起・学年間の交流中止
- (164) 健康チェックシートを毎日記録する、学食での机などの配置、不要不急の外出の自粛
- (165) 主要行事の中止、教室の消毒、マスクの着用等
- (166) 学生・保護者と情報を密にとる。
- (167) 国や県からの情報共有・法人内の対策共有
- (168) 検討中。
- (169) 学生の精神面のフォローを検討必要
- (170) 職員の在宅ワークもしくは、少人数出勤、フレックス出勤。マスク着用義務化。常時換気。会議の省略化。
- (171) 毎朝学校到着時手洗い、健康記録表の活用など
- (172) 体調管理(熱計表の管理、検温・手洗い・マスク着用の徹底)、来校者の制限
- (173) 現在、検討中
- (174) 換気、消毒液の準備、座席の感覚、マスクの着用、検温などを検討しています。
- (175) 感染予防、学生へのフォロー体制の構築、学生へのアナウンス等強化
- (176) 検温、手洗い、消毒液設置等の環境整備、健康チェック、席の間隔、窓、教室のドアの開放、マスクの着用、学生に対する意識づけ
- (177) 換気、消毒、手洗い、机と机の距離をなるべく離す、
- (178) 3密を避けた対応
- (179) 広報活動の自粛
- (180) 毎日の検温や体調管理を担当へメール送信し確認を行ってる。
- (181) 登校前の検温、手指消毒、換気の徹底
- (182) 密集・換気・消毒など
- (183) ICT 活用の検討
- (184) マスク着用・手洗い・消毒の徹底、予備のマスクや消毒液の設置、定期的な換気の実施
- (185) 感染予防の対策など

- (186) 協力医療機関との連携に基づき、必要な助言・指導が得られる体制を確保している。コロナに限らず、健康診断等で気になる所見がある場合は速やかに専門的検査等が実施できる体制を取っている。その場合、学生には授業よりメディカルチェックを優先した行動を優先するよう指導している。
- (187) 毎朝の検温、健康管理シートのチェック、来校者名簿の作成
- (188) 新型コロナウイルスに対応する指針を作成した。その内容は共通する感染防止対策や休校・欠席の判断と取扱い、授業運営、学生生活、教職員の勤務について等である。事態の流動性を鑑みて、遵守期間を設け、徹底を図ることとしている。
- (189) 三密・手洗いに気を付けるよう伝える
- (190) 毎朝の検温など。
- (191) 消毒環境の整備、手洗い指導、手づくりマスク指導、健康自己チェックの指導
- (192) 窓全開、机配置の間隔を最大限開ける、学外演習を学内へ変更(実習も演習に一部変更)
- (193) 消毒、殺菌、マスク着用、換気の徹底。知識だけでなく心の教育

6-3 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実習以外に授業など学校を運営していくうえで何か困っていることがあれば、該当項目を選択してください(複数選択可)



該当項目は次のとおりです

- (1) マスクや消毒用ジェルの在庫がない(技術演習に支障を来す)
- (2) 新型コロナウイルスに感染した学生が確認された場合の他の学生への影響
- (3) 濃厚接触者がでた場合、科目担当者でないと授業ができないことによる学生への影響

- (4) 感染した学生が確認され、実習と重なった場合の養成規程時間を満たさない場合の判断
- (5) 新型コロナウイルスに感染した学生が確認された場合の、校内消毒
- (6) 3密を避けるための教室の確保が難しい
- (7) 留学生に対する新型コロナウイルスの感染対策の支援
- (8) 授業料の支払いに困っている学生がいる(家族の感染等による)
- (9) 入学の辞退者が増加
- (10) その他

選択項目「その他」の解答内容は次のとおりです(順不同、受信順に掲載)

- (1) 上記のような状況については、現状として発生していないこともあり困っていない。しかし感染者が発生した場合や休校が生じカリキュラム時間数の実施が難しくなった場合における対応については模索してる段階である。
- (2) JRでの通学時に密集を避けるべく、時間差登校を実施予定である。
- (3) 接触する科目の授業内容の変更に苦慮している。
- (4) 無理をして実習を依頼することで、介護施設等に無理をさせリスクを負わせないか心配しています。また、休校となり自宅学習させた場合、自宅学習が単位として認められるか不明です。実習もできない、学校にも来れない状態で、卒業できない状態になると、介護福祉士養成が出来なくなり、社会にも大きな影響を及ぼすと思われます。外部実習をさせず、自宅学習を単位として認め、予定どおり卒業できる方法があれば、教えていただきたいと思います。
- (5) 在籍期間内に履修すべき科目の受講が可能かどうか
- (6) 対象入学生がおりません
- (7) 資格取得に必要な授業に関し、遠隔授業等柔軟な教育方法の採用について、介養協から監督官庁へ指針等を示すよう要望して欲しい。
- (8) 休校中にアルバイトを実施することへの制限が難しい
- (9) 実習を学内演習に変えてもよいと連絡がありますが、その場合の認められる演習内容及び書類等について詳細がわかりません
- (10) 先行きが不安(授業の再開など)
- (11) アルバイトができなくなった学生の生活費の工面
- (12) 先の予定が立てられない
- (13) 専攻科1年コースのため、国家試験まで8か月で受験となることを考えると心配
- (14) 学生が登校していないので個別の状況は不明だが、授業料支払い困難学生が増えるのではないかと推測。
- (15) 非常勤講師の授業確保やレポート課題等での読み替えについて、他校の実施状況を共有したい。、実習実施の有無も知りたい。
- (16) 介養協から授業や実習について根拠に基づいた指針をだしてもらいたい。生活支援技術などの授業をどのように工夫して行っているかなどの事例をだしてもらいたい。

- (17) 授業の振替(読み替え)方法が不透明。その為、今後の授業の予定の目途が立ちにくい。2年課程で、2年生が年度をまたいでしまった場合、受験資格(見込み)の効力が有効となるのか。
- (18) 授業開始が大幅に遅れるため時間数の確保
- (19) 休講分の授業の補講時間を確保するのが難しい
- (20) 入学予定者が入国できない。
- (21) 介護実習を中止した場合、介護実習の規定された時間をどのように行うか。
- (22) 現段階では上記内容が起こっていないので未定。3蜜について気候の変化に伴い想定される。
- (23) 学校への登校を禁止した場合の遠隔授業の取り扱いについて、本校ではインフラ整備がされていないので、課題・レポート等を学生達に実施することで授業時間に補填できるか否か判断等が官庁の個人によっても返答がバラバラであり判断しかねること・留学生で一時帰国した学生(入学生・在学学生含む)が日本に再来日できない状況
- (24) 代替方法(レポート等)についての単位認定基準
- (25) 演習や実習科目を具体的に濃厚接触を避けるためにはどうするのかの指針が必要
- (26) 現在、大学に来ること自体が禁止されているため、現在のところ該当しない
- (27) 3番目以外は今後のこととなりますが、養成規定時間については是非考慮いただきたいです
- (28) 受入れ実習先がない場合
- (29) 今年度の施設実習が実施できない可能性が高い
- (30) 今後、急速な拡大が予測されるが、それにどのように対応するか、限られた時間のなかで次々と判断して指導を行う必要がある難しさを感じている。
- (31) 学校で授業を受けるあるいは教授することにより、感染するのではないかと不安に思い、通学(通勤)できない方が出るのではないか。授業料の支払いが困難になる学生が出る可能性はあるが、現時点では学校に問い合わせ等ない
- (32) カリキュラムポリシーに則った効果的な授業展開ができない。学生の学習支援。学力不足の学生への補講、再実習、時間確保。学生、保護者の不信感への対応。数知れず。
- (33) 介護実習が一番困ります
- (34) 留学生の来日が遅れることによる補講対応が心配です。
- (35) 実習そのものの受入不可の場合の対応策などが明確でない
- (36) マスクや消毒用ジェルの在庫が少ない。(関係ないですが、設問と項目の内容が、現在困っていることなのか、今後のことに対して回答するのが分かりにくい部分がある)
- (37) 遠隔授業など弾力的に取り扱って良いとされているが、演習や実技を要する授業や実習は代用しようがない。それに伴う教育上のハンデを危惧する。

以上